



ERA testについて

Endometrial Receptivity Analysis(ERA test)

着床の窓をみる検査です。

妊娠において子宮内膜が受精卵を受け入れる時期は決まっており、「着床の窓 (Implantation Window)」と呼ばれます。原因不明で着床不全を繰り返す方はその時期が一致していないことがあり、検査では子宮内膜組織の遺伝子レベルで一致の有無を確認します。つまり、子宮内膜に受精卵が着床できる時間や時期には個人差があり、適切な時期に移植することにより妊娠が上がるというものです。

時期

子宮内膜をエストロゲンというホルモン剤で調整した後、プロゲステロンホルモンを使用した5日目、月経周期でいうと**排卵後の高温期**です。

予約

医師と確認しながら検査日時を決めます。

ご自身で検査日時 (診察枠) の予約をお取りください。

検査日時: **月～土 午前11:30まで、午後は17:00まで (土曜日は16:00まで)**

持ち物

昼用ナプキン 1枚

検査の流れ

ホルモン補充周期で行います。

(薬剤処方、超音波検査、ホルモン検査などで約2~3万円が別途必要となります。)

- ① 月経2-3日目に来院し、ホルモン採血を行い、結果良好であればエストロゲン製剤 (卵胞ホルモン製剤) を開始します。
- ② 月経10~14日目に子宮内膜の厚さを確認し、検査日を仮決定します。その際、採血をしてプロゲステロンというホルモンが上昇していないことを確認し、プロゲステロン (黄体ホルモン製剤) 膣剤が開始されます。
- ③ プロゲステロン製剤を開始した日を0日目として、5日目に子宮内膜組織を採取し検査に提出します。

子宮体がん検診と同様の方法で、子宮内膜を採取します。通常は3分程度で痛みも軽度ですが、子宮口が硬い場合など、器具挿入が困難な場合には痛みを伴います。またまれに痛みが強く、通常の外来での検査ができない場合もあります。

注意点

- この検査は自然周期で行うこともありますが、誤差の可能性をなくすためにも厳重にホルモン補充周期を使った検査になります。
- 検査を行う周期で胚移植を行うことはありません。
- 検査当日はシャワー浴のみ可能ですが、入浴や性交渉はお控えください。

結果

検査結果には、2～3週間を要します。子宮内膜を採取した時期の結果が「Receptive（着床可能）」の場合、着床時期には問題がなく良好な受精卵をこの時期に同じ条件にて移植していくことにより妊娠が期待できます。「Non-Receptive（着床不可）」の結果が出た場合は、再検査が必要となります。この場合、検査結果には次回検査時の子宮内膜採取のタイミングの指示が記載されています。再検査の結果を確認することで個人の最適な移植時期を特定できますので、次回以降の同条件の周期にて良好な受精卵を移植します。再検査によって最適な移植時期を特定した個別化された胚移植を実施した結果妊娠率が24%上昇したと報告されています。

検査実施に伴う副作用、不利益に関して（免責事項）

頻度はごく稀ですが、ERA testを実施されるにあたり、考えられる副作用として出血、子宮内感染症、子宮穿孔などがあります。また検体輸送中の事故などによる検体の破損、もしくは逸失につきましてはその理由を問わず当院では一切の責任を負えないことをご了承ください。

検査の同意の取り消し

ERA test実施前であれば、治療の同意を取り消すことは可能です。しかし、一度同意があった医療行為に関しましては、あとからお取消しのお申し出があった場合、すでに行われていた医療行為（具体的にはホルモン調整など）につきましては同意があったうえで行われたものといえます。

費用

[こちら](#)をクリックしてご確認ください。

- 子宮内膜検体の採取が難しく、検体量が不足するなどして再検査が必要となる場合があります。再検査が必要な場合、子宮内膜検査料などは通常無料ですが、薬剤処方のみ費用が必要となります。
- 表示金額は、全て税抜き価格です。ERA検査などの子宮内膜検査費用以外に薬剤処方、超音波検査、ホルモン検査などで別途費用が発生します。また料金は予告なく、変更になる場合がございます。

これらの方法はまだ確立されているものではなく、個人差が大きい治療法です。

ご不明な点がございましたら、医師または看護師にご相談ください。

医療法人社団守巧会 矢内原ウィメンズクリニック
〒247-0056
神奈川県鎌倉市大船1-26-29-4F
TEL:0467-50-0112 FAX:0467-50-0113
<https://www.yanaihara.jp/> Email info@yanaihara.jp